

## 第44回 景気動向レポート

2022年10～12月期

### ○概要

調査時期 令和4年12月上旬  
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、  
 伊勢原市、秦野市、座間市、  
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡  
 全調査先 当金庫取引先 319先  
 回答先数 当金庫取引先 315先  
 (内訳) 製造業：62先  
 卸売業：19先  
 小売業：47先  
 サービス業：73先  
 建設業：84先  
 不動産業：30先  
 回答率 98.7%

### ○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、  
 調査先による直接記入・回収方式

### ○分析方法

D I (Diffusion Index)  
 D Iとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」  
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」  
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。  
 D Iがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、  
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

### 業況D Iの推移 (業種別D I天気図)

	2021年 10-12月期	2022年 1-3月期	2022年 4-6月期	2022年 7-9月期 (前期)	2022年 10-12月期 (当期)	2023年 1-3月期 (予想)
製造業	↗ ☁	⇒ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁
卸売業	↗ 🌧	↘ 🌧	↗ 🌧	↘ 🌧	↗ ☁	↘ ☁
小売業	↗ ☁	↘ 🌧	↗ 🌧	↘ 🌧	↗ ☁	↘ 🌧
サービス業	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁
建設業	↘ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁
不動産業	↗ ☁	↘ 🌧	↗ ☁	⇒ ☁	↘ ☁	↗ ☁
全業種	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁



# 全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

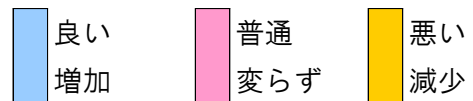
2022年10～12月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比+11.5ポイントの1.3と大幅な改善。不動産業を除く全業種で改善となりました。

売上DIについては、対前期比+18.4ポイントの16.5となり、収益DIは対前期比+12.9ポイントの1.6となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+7.4ポイントの30.2となり6期連続の上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比▲7.2ポイントの56.6となり2期連続の低下、資金繰りDIは対前期比▲2.5ポイントの▲6.0となりました。人手DIについては対前期比▲5.3ポイントの▲32.5となりました。

来期（2023年1～3月期）の業況予想では、不動産業を除く全業種で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比▲6.1ポイントの▲4.8と悪化を見込んでいます。

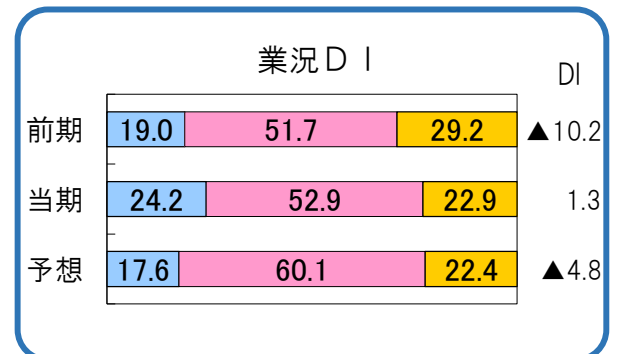
## 主要D I 構成



### ○業況D I



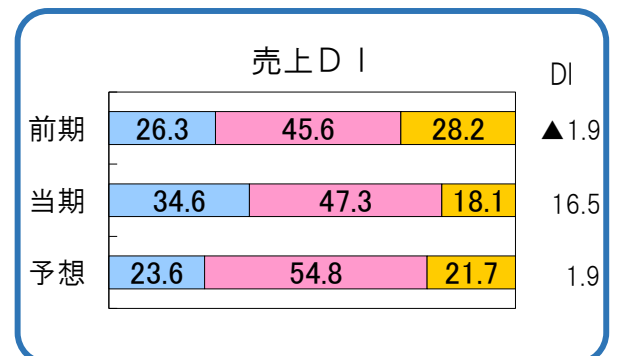
業況DIは、対前期比+11.5ポイントの1.3(前年同期▲5.4・前回予想との差+11.3)となりました。不動産業を除く全業種で改善したことから、業況DIは大幅な改善となりました。今後の業況DIは、対当期比▲6.1ポイントの▲4.8と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



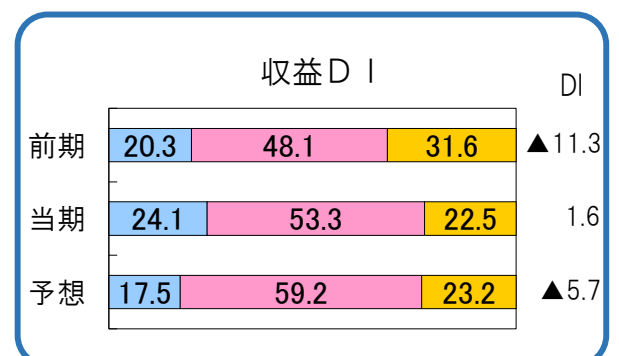
売上DIは、対前期比+18.4ポイントの16.5（前年同期4.5・前回予想との差+11.1）となりました。サービス業を除く全業種で改善したことから、売上DIは大幅な改善となりました。今後の売上DIは、対当期比▲14.6ポイントの1.9と大幅な悪化を見込んでいます。



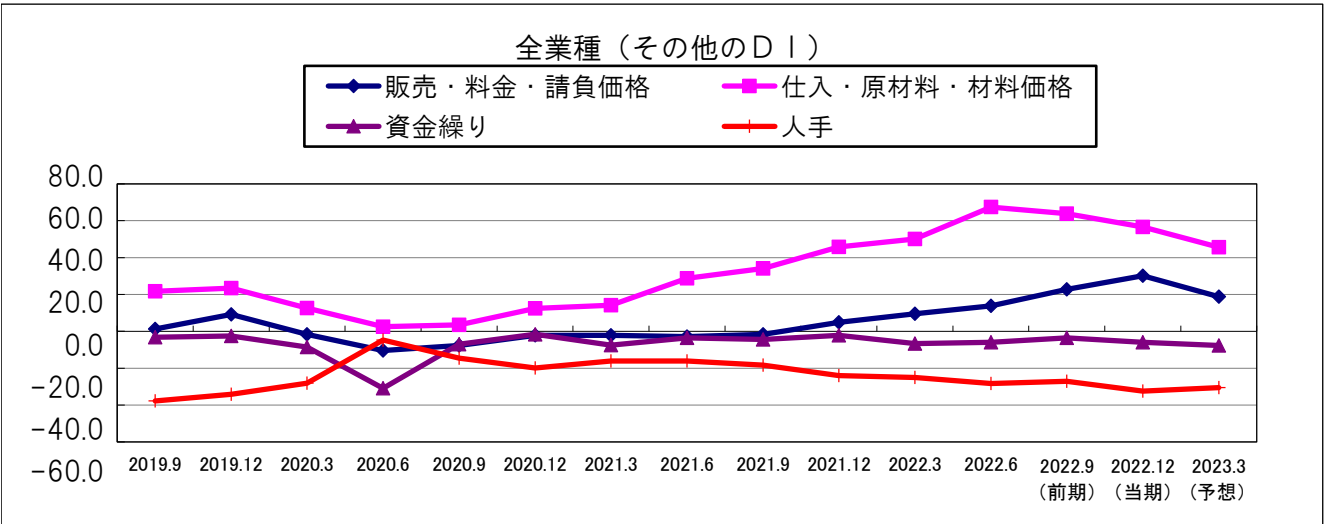
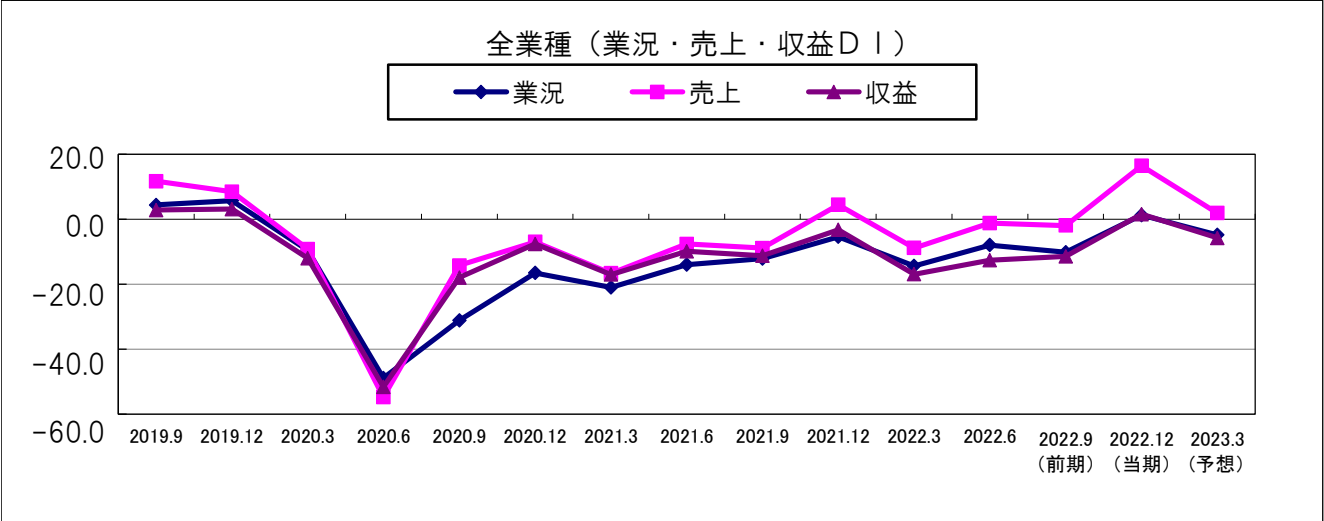
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+12.9ポイントの1.6(前年同期▲3.2・前回予想との差+8.5) となりました。サービス業を除く全業種で改善したことから、収益DIは大幅な改善となりました。今後の収益DIは、対当期比▲7.3ポイントの▲5.7と悪化を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

『ひらしんBig Advance』において、インボイス制度にも対応した請求書発行システム『ちゃんと請求書』の運用を開始！

「請求書業務、なんでそんなに時間がかかるの？」  
なんてもう言わせない!!

**ちゃんと請求書**  
なら、大丈夫!

見やすい画面  
操作がかんたん!  
インボイス制度対応

マンガで分かりやすくご紹介!

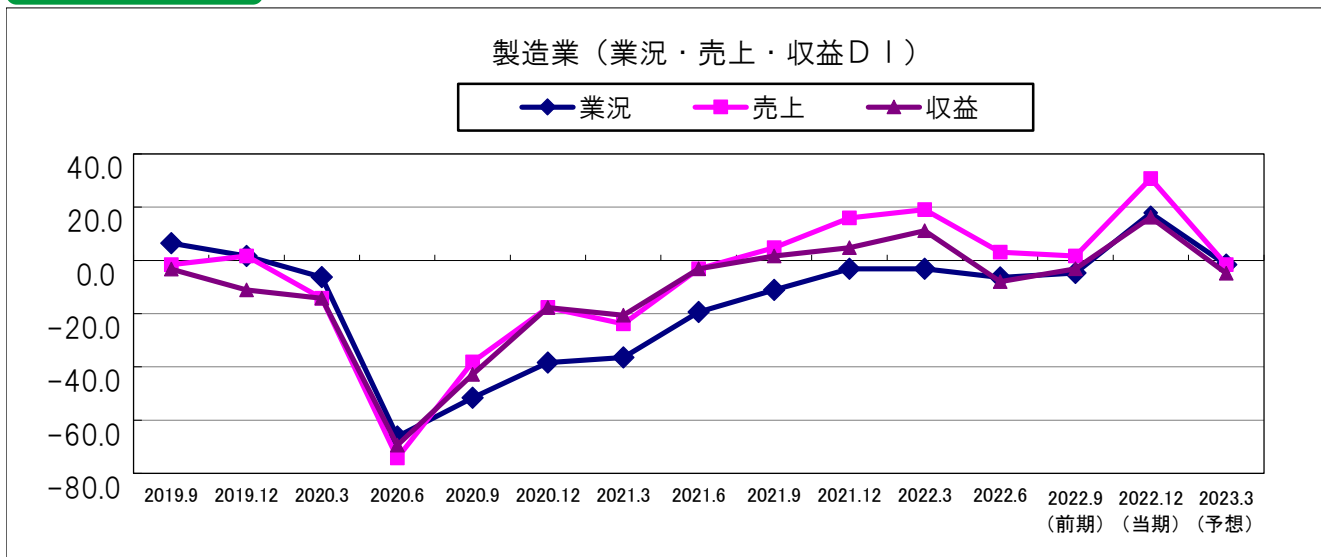
ひらしんBig Advance  
会員特別料金  
月額 **1,100**円(税込)  
※2023年1月サービス開始

# 製造業

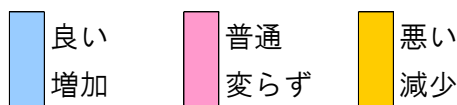
今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



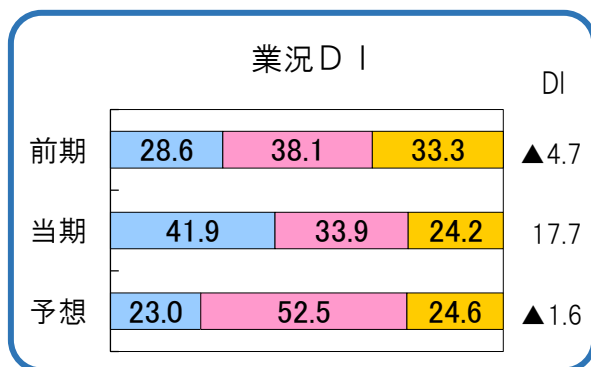
## 主要D I 構成



### ○業況D I



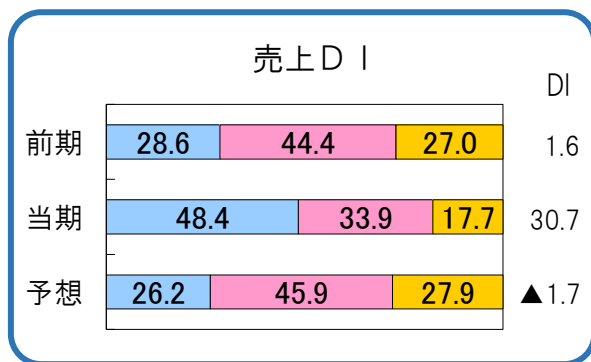
業況DIは、対前期比+22.4ポイントの17.7(前年同期▲3.2・前回予想との差+29.2)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲19.3ポイントの▲1.6と悪化を見込んでいます。



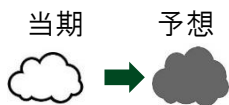
### ○売上D I



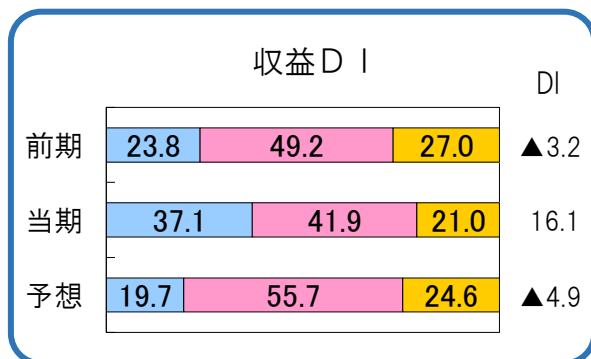
売上DIは、対前期比+29.1ポイントの30.7(前年同期15.9・前回予想との差+22.8)と3期ぶりの改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲32.4ポイントの▲1.7と大幅な悪化を見込んでいます。



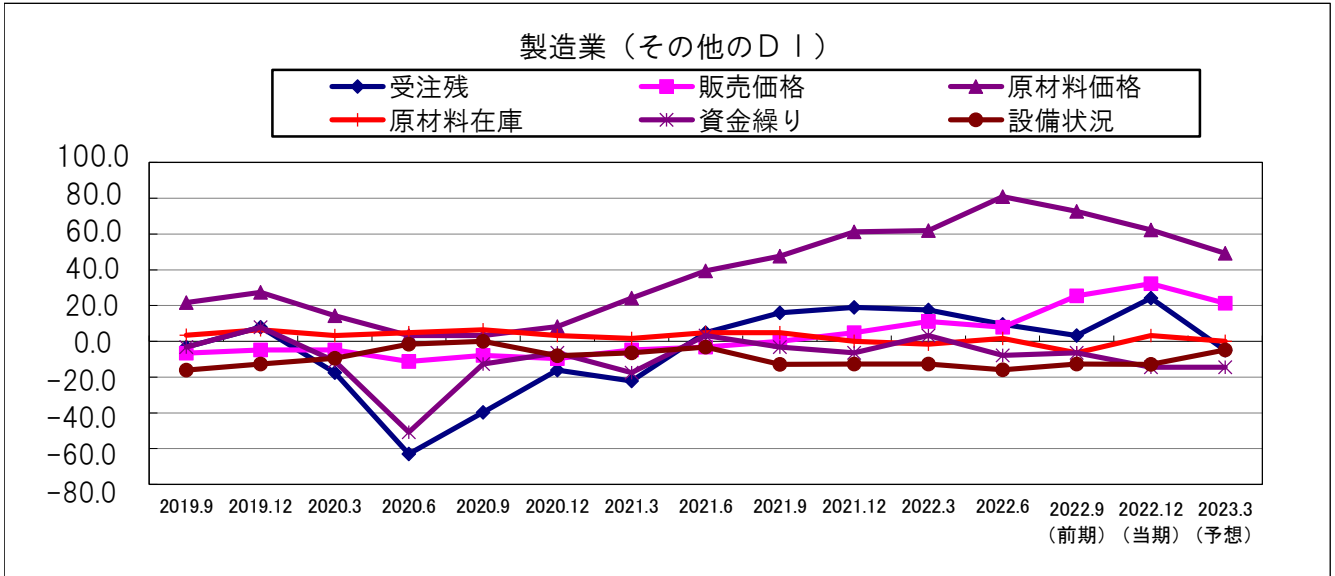
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+19.3ポイントの16.1(前年同期4.8・前回予想との差+17.6)と2期連続の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲21.0ポイントの▲4.9と悪化を見込んでいます。



その他のD I 推移

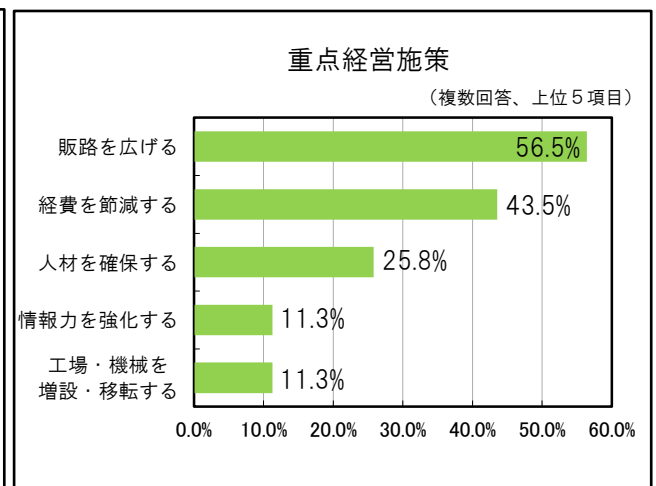
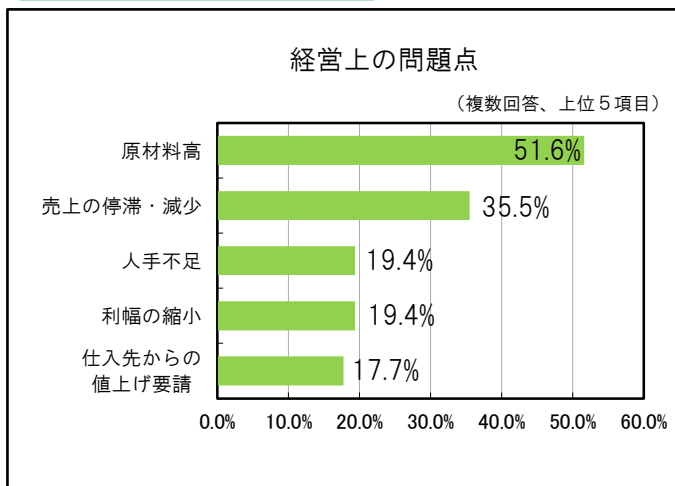


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+21.0ポイントの24.2、販売価格DIは+6.9ポイントの32.3、原材料価格DIは▲10.3ポイントの62.3、原材料在庫DIは+9.8ポイントの3.3、資金繰りDIは▲8.2ポイントの▲14.5、設備状況DIは+0.2ポイントの▲12.9となりました。

今後は、設備状況DIは上昇、資金繰りDIは横這い、受注残DI・販売価格DI・原材料価格DI・原材料在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が51.6%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」35.5%、「人手不足」「利幅の縮小」が共に19.4%、「仕入先からの値上げ要請」17.7%となりました。

【重点施策】

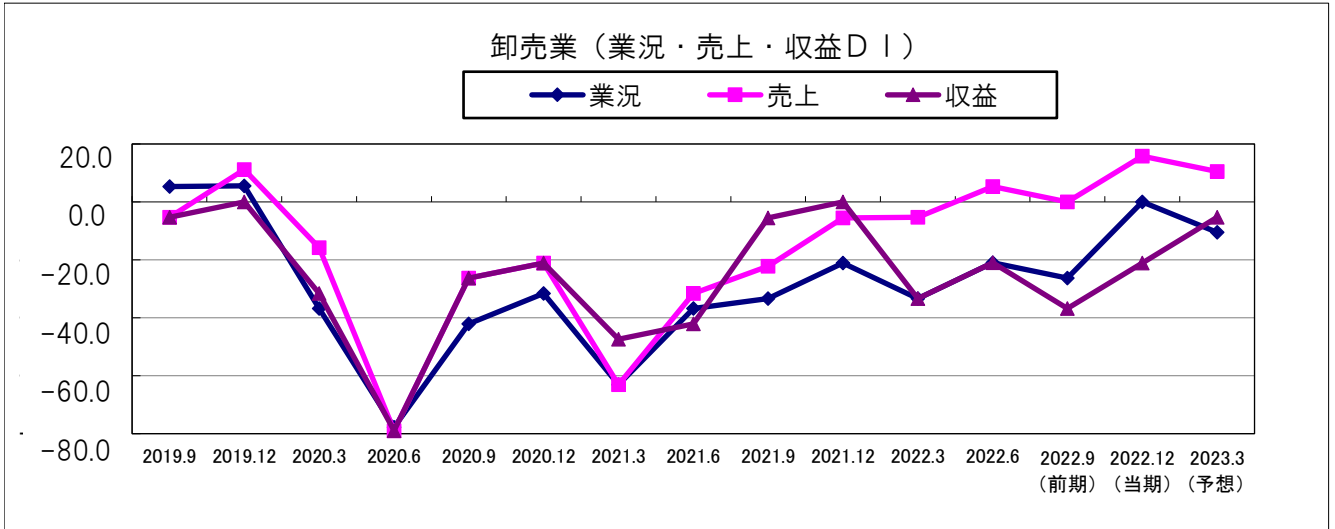
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が56.5%と最も多く、次いで「経費を節減する」43.5%、「人材を確保する」25.8%、「情報力を強化する」「工場・機械を増設・移転する」が共に11.3%となりました。

# 卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：収益D I は改善、業況・売上D I は悪化の見込み

## 主要D I 推移

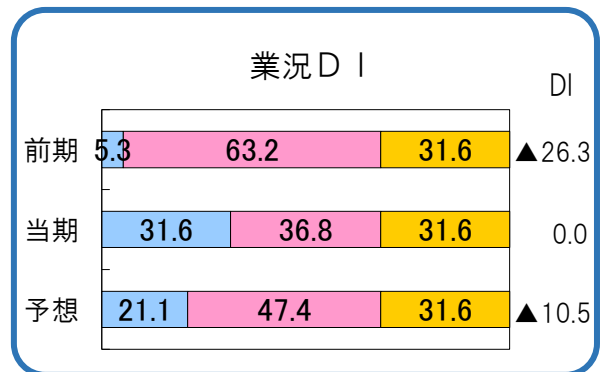
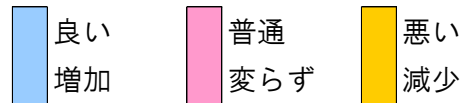


## 主要D I 構成

### ○業況D I



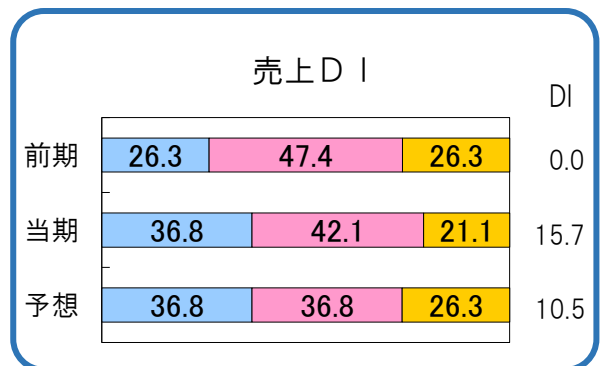
業況D Iは、対前期比+26.3ポイントの0.0(前年同期▲21.1・前回予想との差+21.1)と大幅な改善となりました。今後の業況D Iについては、対当期比▲10.5ポイントの▲10.5と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



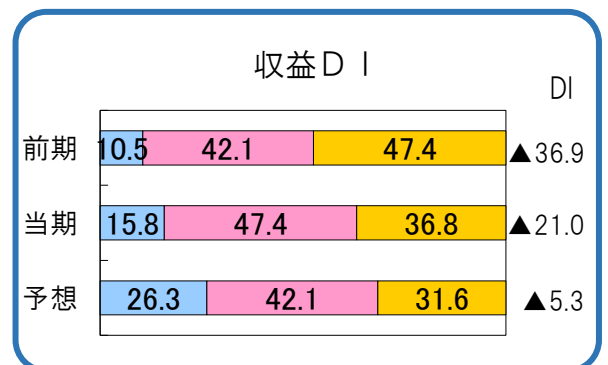
売上D Iは、対前期比+15.7ポイントの15.7(前年同期▲5.6・前回予想との差+15.7)と大幅な改善となりました。今後の売上D Iについては、対当期比▲5.2ポイントの10.5と悪化を見込んでいます。



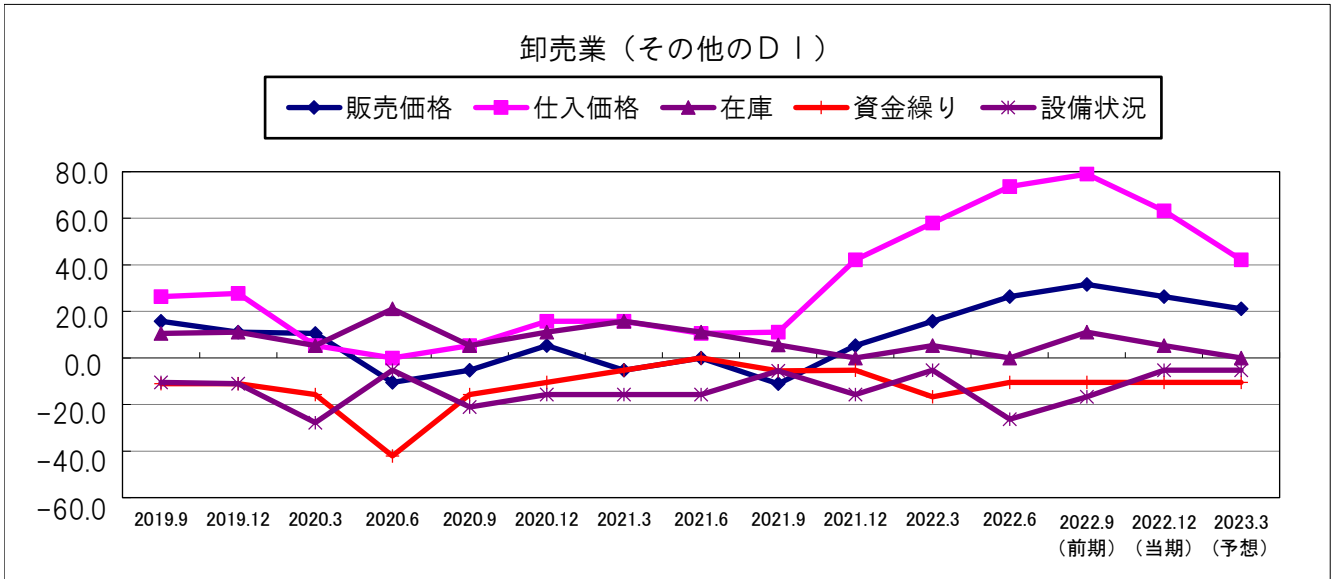
### ○収益D I



収益D Iは、対前期比+15.9ポイントの▲21.0(前年同期0.0・前回予想との差+0.1)と大幅な改善となりました。今後の収益D Iについては、対当期比+15.7ポイントの▲5.3と大幅な改善を見込んでいます。



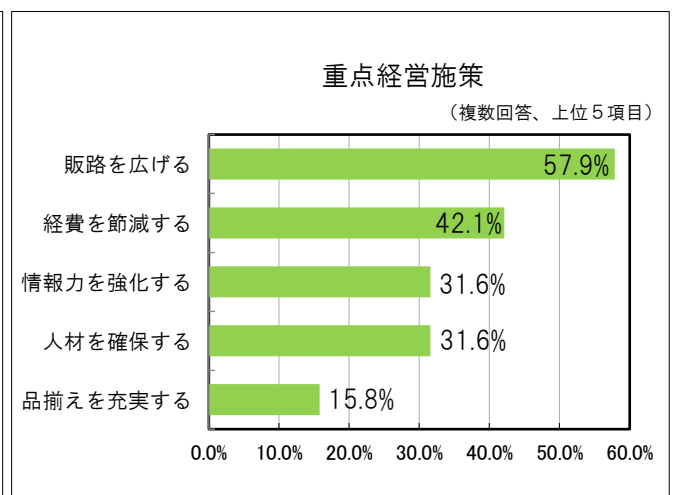
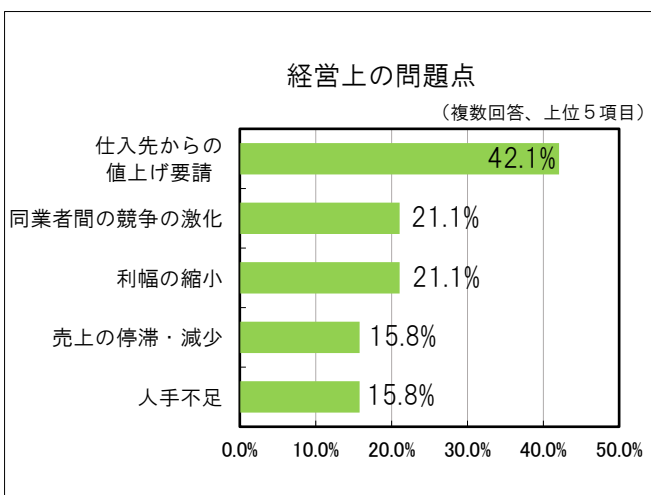
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは▲5.3ポイントの26.3、仕入価格DIは▲15.7ポイントの63.2、在庫DIは▲5.8ポイントの5.3、資金繰りDIは±0.0ポイントの▲10.5、設備状況DIは+11.4ポイントの▲5.3となりました。今後は、資金繰りDI・設備状況DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「仕入先からの値上げ要請」が42.1%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」が共に21.1%、「売上の停滞・減少」「人手不足」が共に15.8%となりました。

【重点施策】

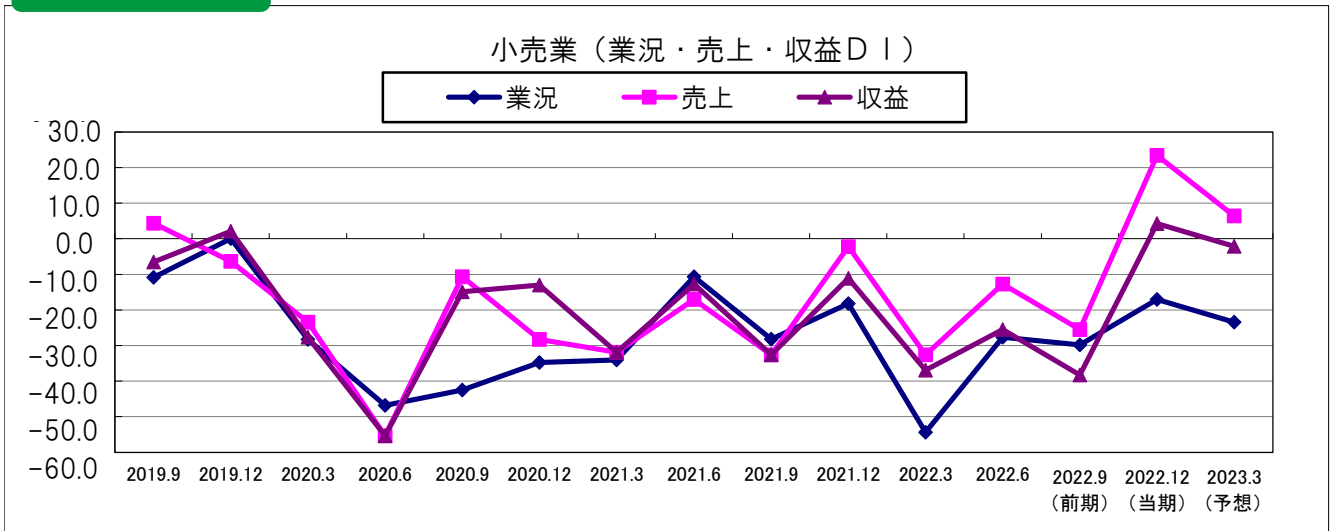
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が57.9%と最も多く、次いで「経費を節減する」42.1%、「情報力を強化する」「人材を確保する」が共に31.6%、「品揃えを充実する」15.8%となりました。

# 小売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



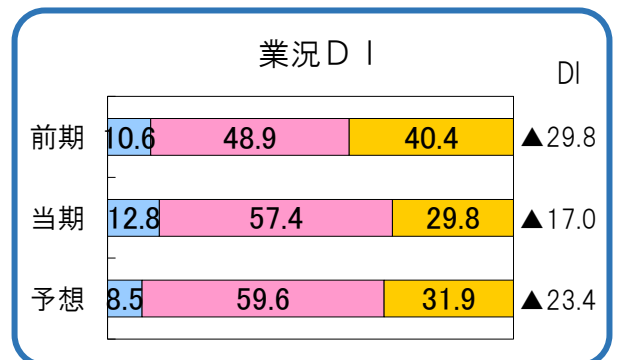
## 主要D I 構成



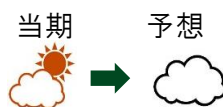
### ○業況D I



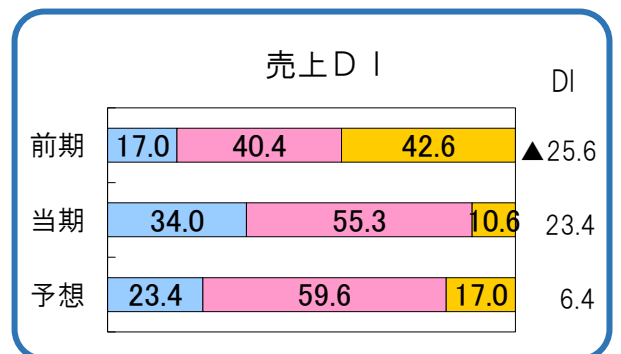
業況DIは、対前期比+12.8ポイントの▲17.0(前年同期▲18.2・前回予想との差+13.5)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲6.4ポイントの▲23.4と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



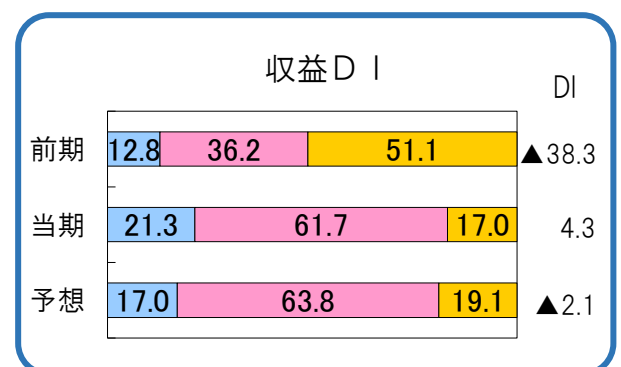
売上DIは、対前期+49.0ポイントの23.4(前年同期▲2.2・前回予想との差+34.1)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲17.0ポイントの6.4と悪化を見込んでいます。



### ○収益D I

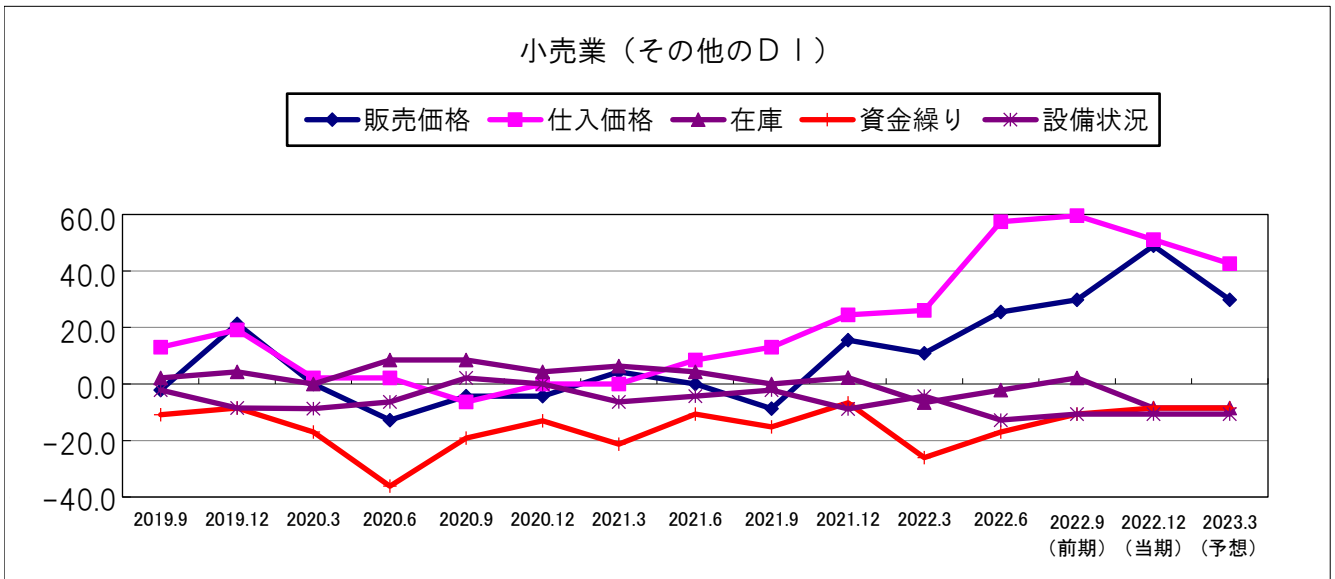


収益DIは、対前期比+42.6ポイントの4.3(前年同期▲11.1・前回予想との差+23.5)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲6.4ポイントの▲2.1と悪化を見込んでいます。





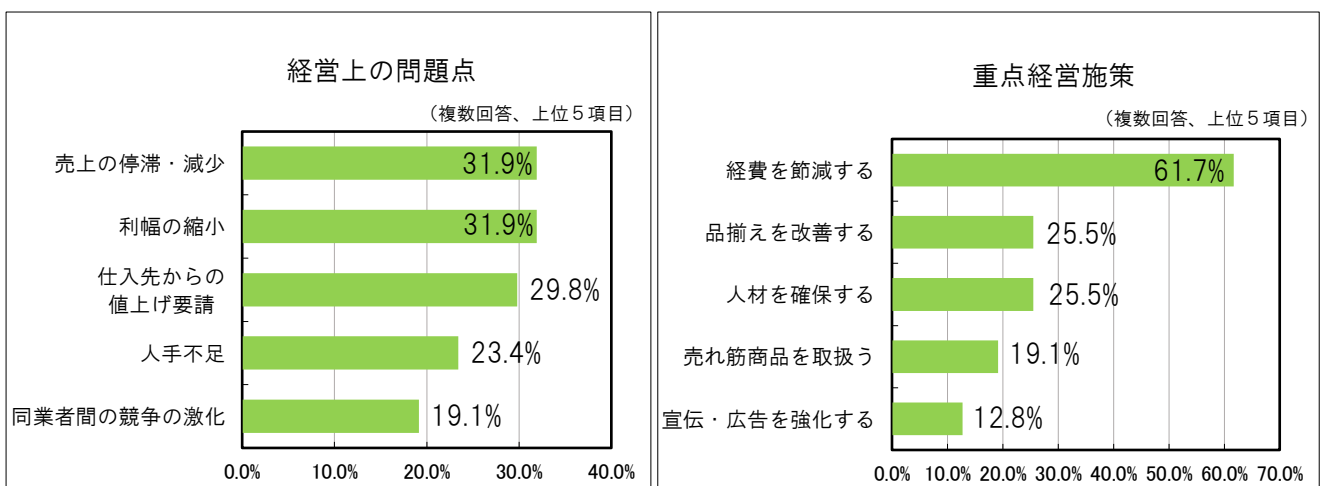
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+19.1ポイントの48.9、仕入価格DIは▲8.5ポイントの51.1、在庫DIは▲10.6ポイントの▲8.5、資金繰りDIは+2.1ポイントの▲8.5、設備状況DIは±0.0ポイントの▲10.6となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDI・設備状況DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」と「利幅の縮小」が共に31.9%と最も多く、次いで「仕入先からの値上げ要請」29.8%、「人手不足」23.4%、「同業者間の競争の激化」19.1%となりました。

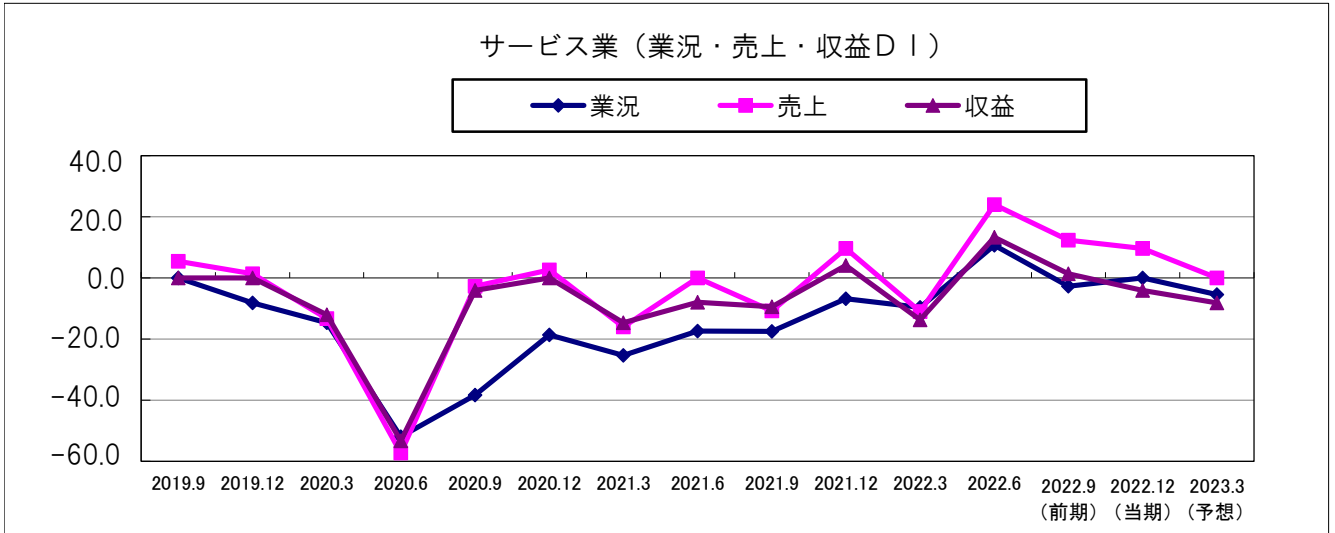
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が61.7%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」「人材を確保する」が共に25.5%、「売れ筋商品を取扱う」19.1%、「宣伝・広告を強化する」12.8%となりました。

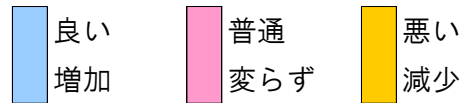
# サービス業

今期：業況DIは改善、売上・収益DIは悪化  
 来期：業況・売上・収益DI共に悪化の見込み

## 主要DI推移



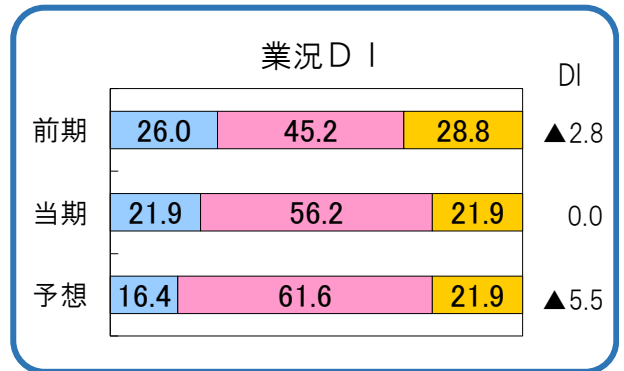
## 主要DI構成



### ○業況DI



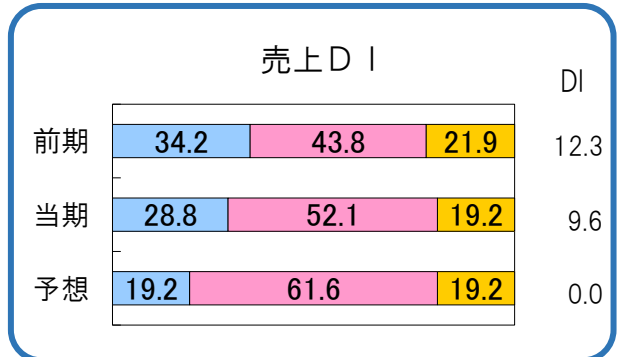
業況DIは、対前期比+2.8ポイントの0.0(前年同期▲6.8・前回予想との差+1.4)の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲5.5ポイントの▲5.5と悪化を見込んでいます。



### ○売上DI



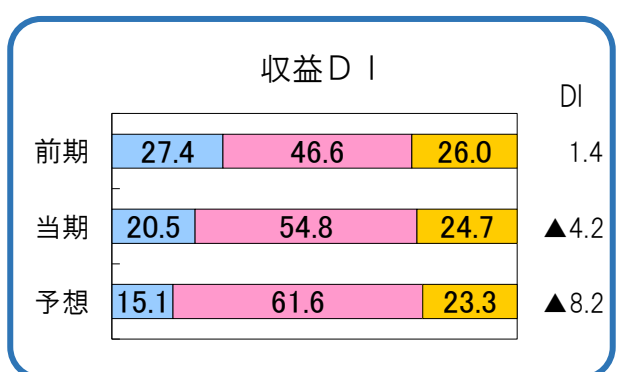
売上DIは、対前期比▲2.7ポイントの9.6(前年同期9.6・前回予想との差▲5.5)の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲9.6ポイントの0.0と悪化を見込んでいます。



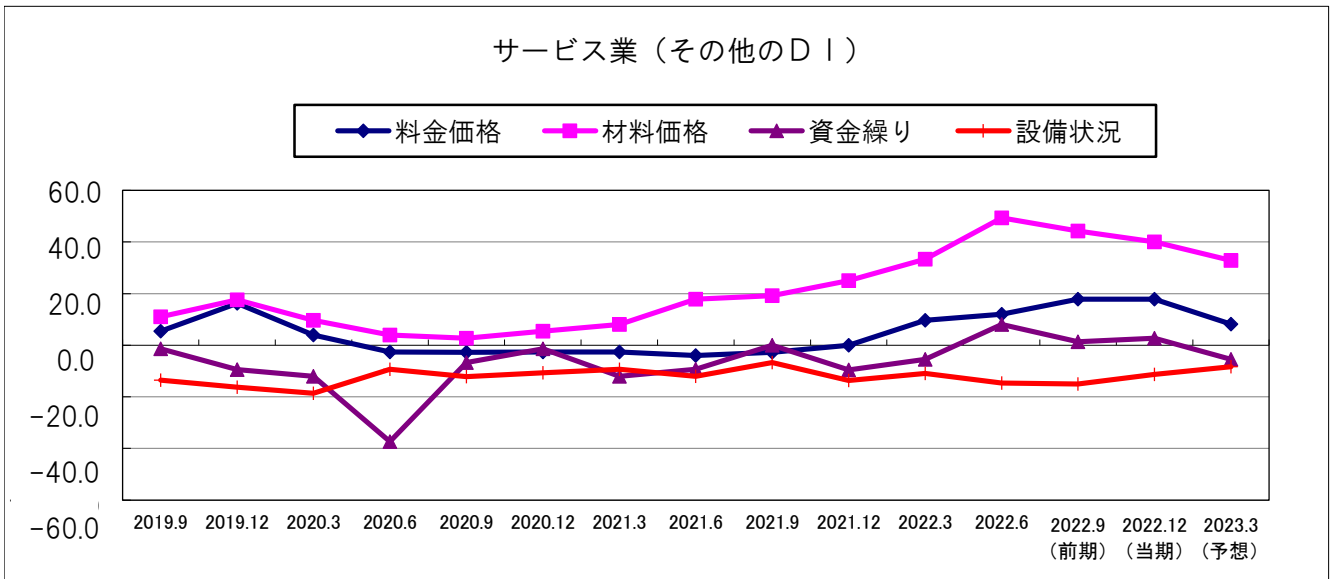
### ○収益DI



収益DIは、対前期比▲5.6ポイントの▲4.2(前年同期4.1・前回予想との差▲7.0)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲4.0ポイントの▲8.2と悪化を見込んでいます。



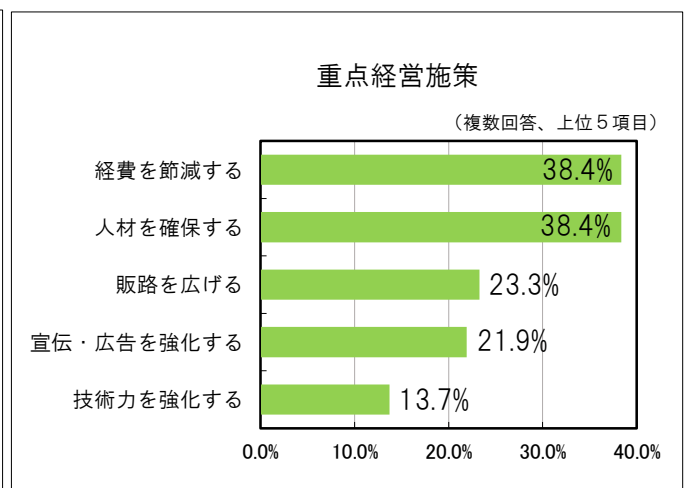
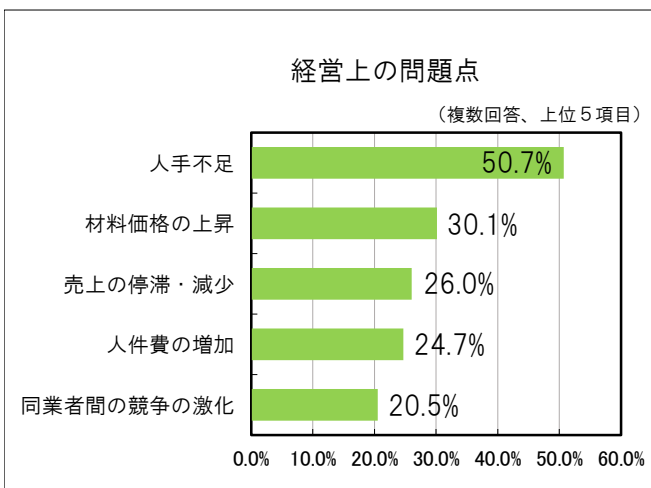
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは±0.0ポイントの17.8、材料価格DIは▲4.3ポイントの40.0、資金繰りDIは+1.3ポイントの2.7、設備状況DIは+3.8ポイントの▲11.3となりました。今後は設備状況DIは上昇、料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が50.7%と最も多く、次いで「材料価格の上昇」30.1%、「売上の停滞・減少」26.0%、「人件費の増加」24.7%、「同業者間の競争の激化」20.5%となりました。

【重点施策】

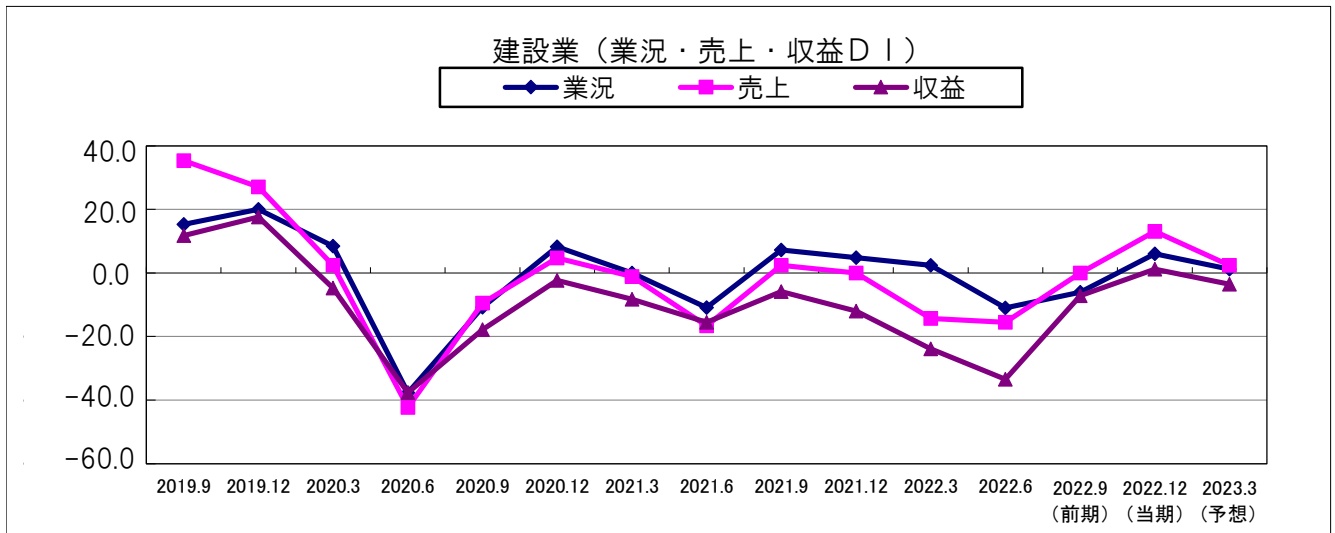
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」「人材を確保する」が共に38.4%と最も多く、次いで「販路を広げる」23.3%、「宣伝・広告を強化する」21.9%、「技術力を強化する」13.7%となりました。

# 建設業

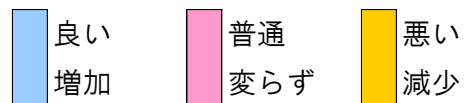
今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



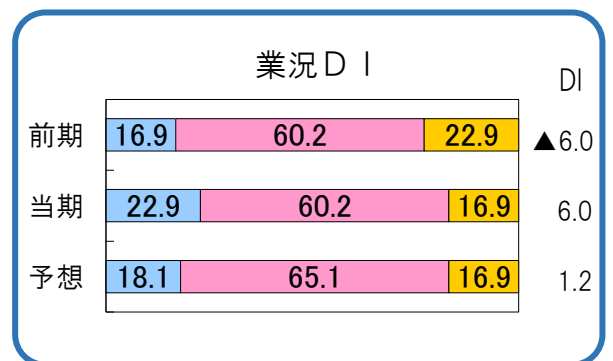
## 主要D I 構成



### ○業況D I



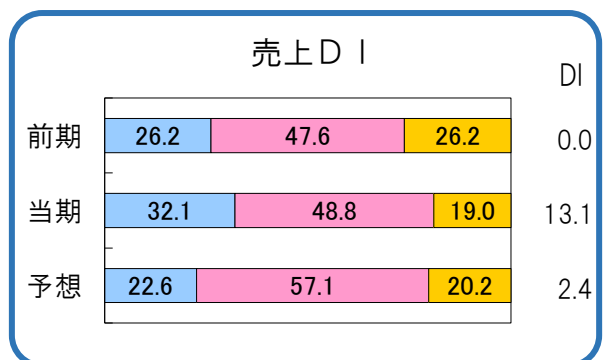
業況DIは、対前期比+12.0ポイントの6.0(前年同期4.8・前回予想との差+6.0)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲4.8ポイントの1.2と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



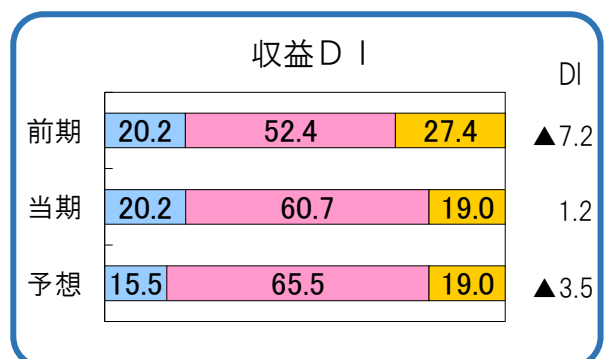
売上DIは、対前期比+13.1ポイントの13.1(前年同期0.0・前回予想との差+3.6)と2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲10.7ポイントの2.4と悪化を見込んでいます。



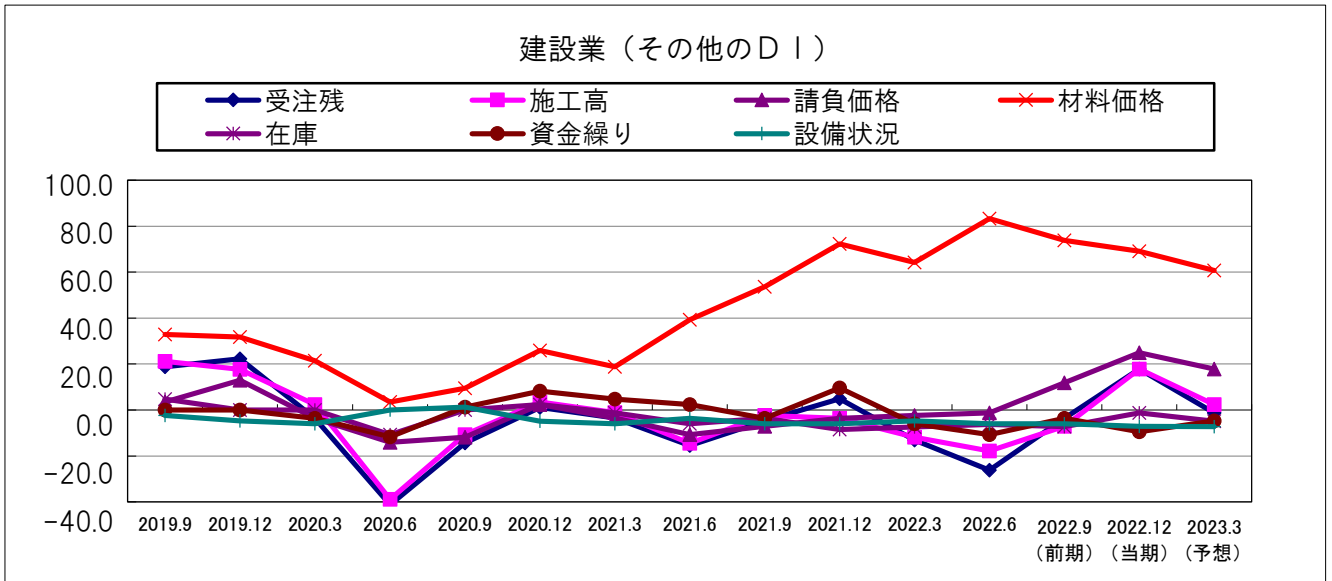
### ○収益D I



収益DIは、対前期比の+8.4ポイントの1.2(前年同期▲12.0・前回予想との差+7.1)と2期連続の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲4.7ポイントの▲3.5と悪化を見込んでいます。



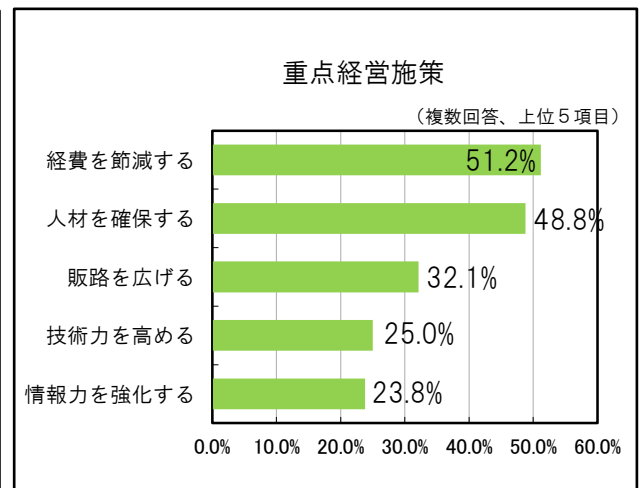
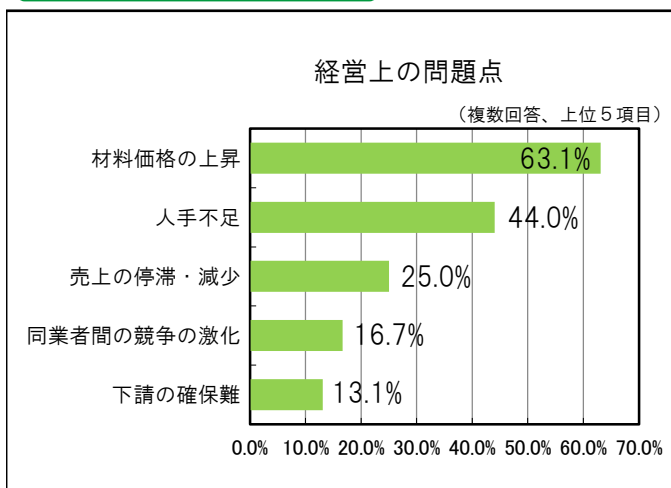
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+21.5ポイントの17.9、施工高DIは+25.0ポイントの17.9、請負価格DIは+13.1ポイントの25.0、材料価格DIは▲4.8ポイントの69.0、在庫DIは+6.0ポイントの▲1.2、資金繰りDIは▲5.9ポイントの▲9.5、設備状況DIは▲1.1ポイントの▲7.1となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・材料価格DI・在庫DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が63.1%と最も多く、次いで「人手不足」44.0%、「売上の停滞・減少」25.0%、「同業者間の競争の激化」16.7%、「下請の確保難」13.1%となりました。

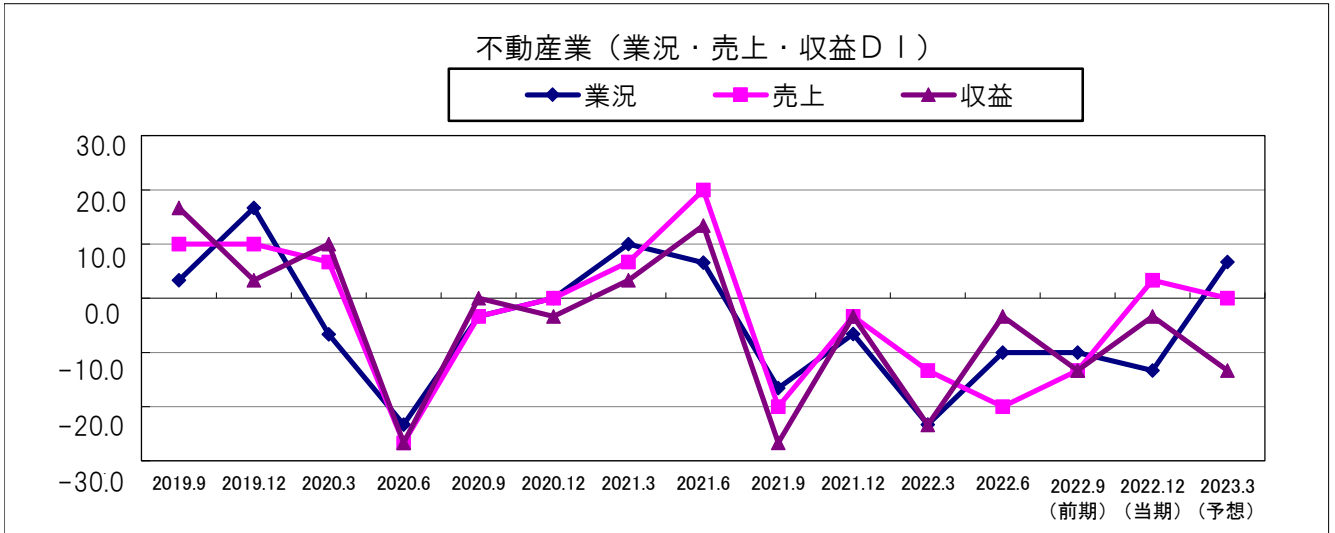
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が51.2%と最も多く、次いで「人材を確保する」48.8%、「販路を広げる」32.1%、「技術力を高める」25.0%、「情報力を強化する」23.8%となりました。

# 不動産業

今期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化  
 来期：業況DIは改善、売上・収益DIは悪化の見込み

## 主要DI推移



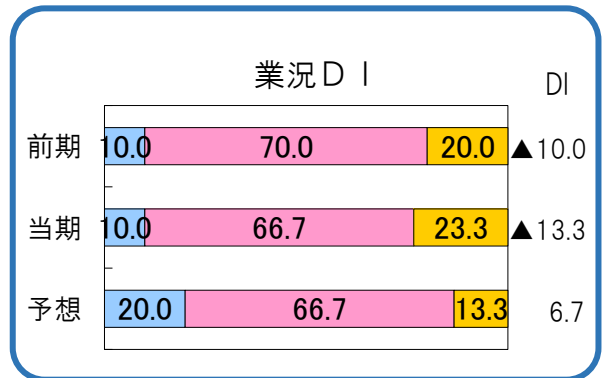
## 主要DI構成



### ○業況DI



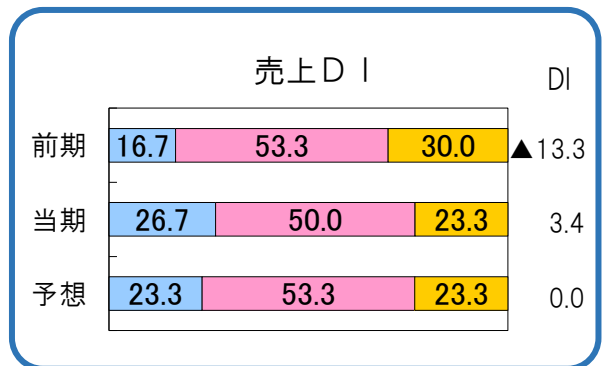
業況DIは、対前期比▲3.3ポイントの▲13.3（前年同期▲6.6・前回予想との差+4.0）の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+20.0ポイントの6.7と大幅な改善を見込んでいます。



### ○売上DI



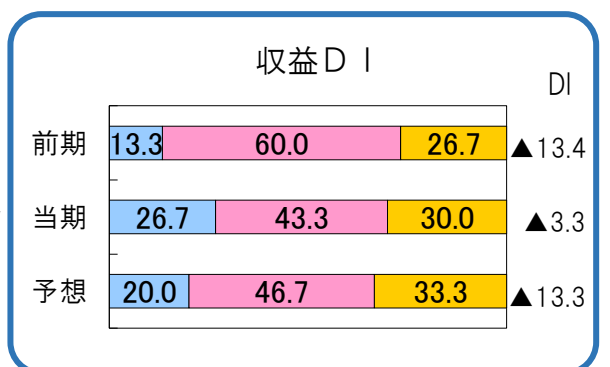
売上DIは、対前期比+16.7ポイントの3.4（前年同期▲3.3・前回予想との差+10.1）と2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲3.4ポイントの0.0と悪化を見込んでいます。



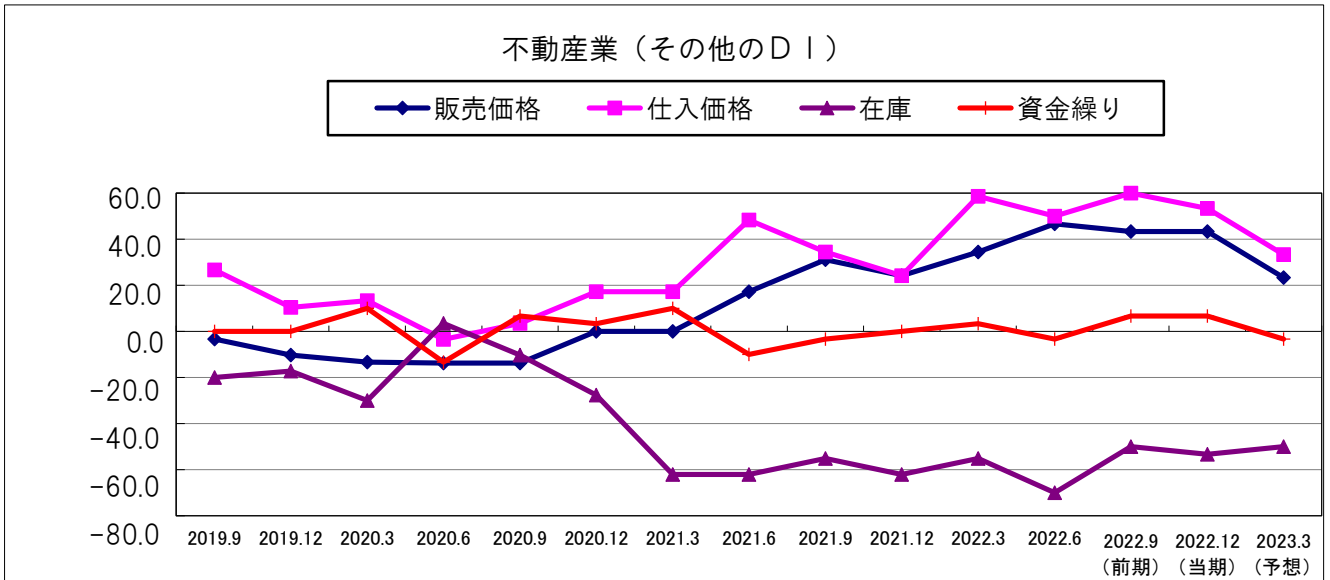
### ○収益DI



収益DIは、対前期比+10.1ポイントの▲3.3（前年同期▲3.3・前回予想との差+13.4）と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲10.0ポイントの▲13.3と悪化を見込んでいます。



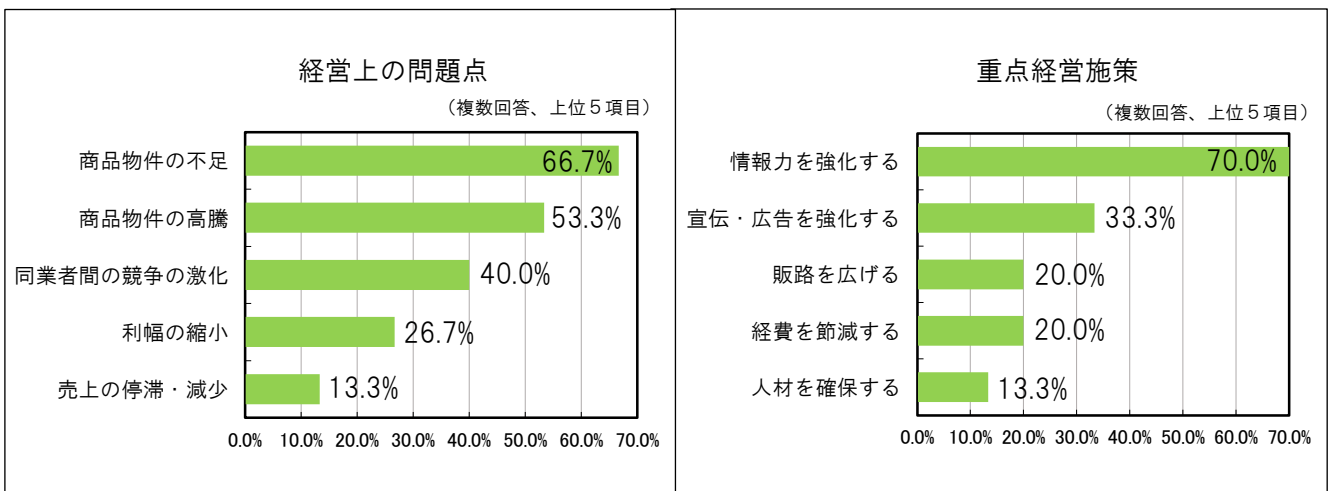
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは±0.0ポイントの43.3、仕入価格DIは▲6.7ポイントの53.3、在庫DIは▲3.3ポイントの▲53.3、資金繰りDIは±0.0ポイントの6.7となりました。今後は、在庫DIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

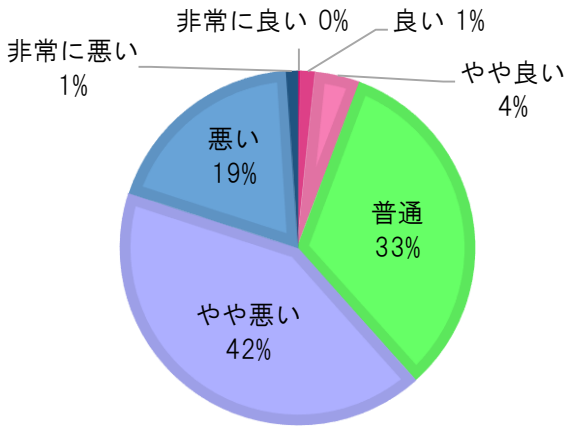
経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が66.7%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」53.3%、「同業者間の競争の激化」40.0%、「利幅の縮小」26.7%、「売上の停滞・減少」13.3%となりました。

【重点施策】

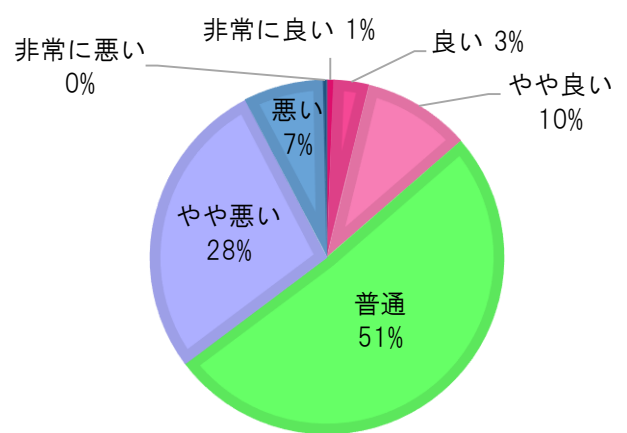
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が70.0%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」33.3%、「販路を広げる」「経費を節減する」が共に20.0%、「人材を確保する」13.3%となりました。

単位：（％）

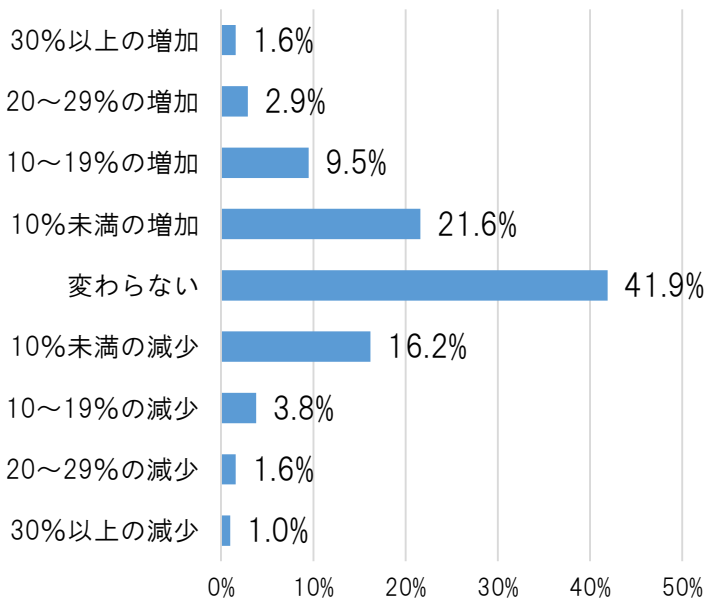
**1** 2023年の日本の景気をどのように見通していますか。



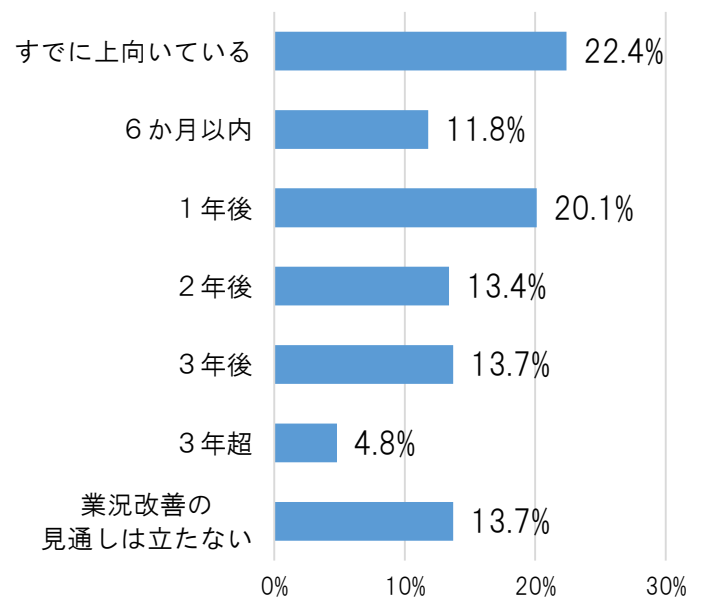
**2** 2023年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



**3** 2023年において売上額の伸び率は、2022年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



**4** 自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



**【アンケート調査員のコメント（抜粋）】**

- 製造業：原材料高騰の影響を受けながらも収益確保はできている。
- 卸売業：仕入商品の値上げや、人手不足が課題。
- 小売業：コロナ禍以前までの来店客数まで回復しておらず、引き続き厳しい状況が続く見込み。
- サービス業：材料価格の上昇や人件費増加が課題。
- 建設業：材料高騰の影響が大きく、今後も利幅の確保が難しいものと考えられる。
- 不動産業：仕入物件の価格が高いため、仕入物件の選別に対して慎重になっている。